

ブルセラ症の症状

ブルセラ症には5-60日
の潜伏期間があります。

主な症状：

発熱

発汗

頭痛

背部痛

体力消耗

中枢神経系や心臓内膜への重症感染症
が発生する可能性があります。
また、ブルセラ症は反復性発熱や、
関節痛、疲労感を含む
長期間または慢性の症状
を引き起こすこともあります。

詳しい情報は

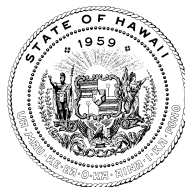
Aloha United Way



www.hawaii.gov/doh

または

www.cdc.gov



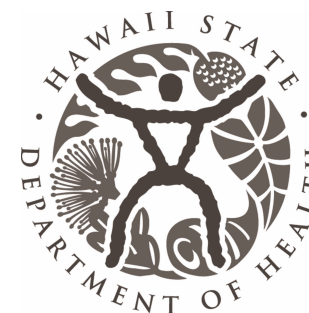
ハワイ州保健局は人種、肌の色、国籍（言語を含む）、年齢、性別、信仰、および障害の有無にかかわらず、そのプログラムと活動を利用する権利をすべての人に提供します。

問題が起きた場合は、180日以内に書面もしくは電話にて差別撤廃措置担当者までご連絡ください。

Box 3378, Honolulu, HI 96801-3378 または
(808)586-4616（音声メールボックス）

ブルセラ症

(Brucellosis)

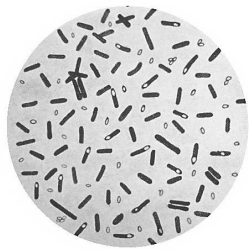


ハワイ州保健局

www.hawaii.gov/doh

お問い合わせやご相談は
2-1-1までお電話ください。

ブルセラ症とは？



ブルセラ症とはブルセラ菌属の細菌により引き起こされる感染症のことで、これらの細菌は主に家畜や野生のキジ、さらには犬等の動物に寄生しそれらの動物間で伝染します。

症状は？

ブルセラ症には5-60日の潜伏期間があります。

主な症状：

- 発熱
- 発汗
- 頭痛
- 背部痛
- 体力消耗



中枢神経系や心臓内膜への重症感染症が発生する可能性があります。また、ブルセラ症に感染すると、熱の持続と解熱を繰り返す波状熱、関節痛、疲労感などを含む長期にわたる症状や、慢性の症状が起こることもあります。

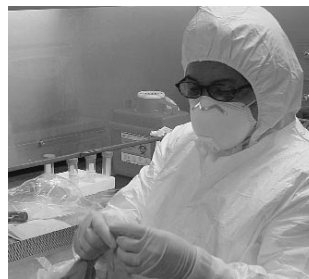
なぜブルセラ症が生物兵器として警戒されているのですか？

ブルセラ症は世界中の多くの場所で発生しており、細菌を含むエアゾールを使うことにより容易に感染を引き起こすことができます。ブルセラ菌の空気浮遊生物兵器に使われる実現性は、アメリカ合衆国が1940年代半ばに行った動物を的にした爆弾実験により証明されています。

自然発生する細菌の感染経路は？

ブルセラ菌属の細菌は、生物兵器として人工的に使用される可能性があるほか、自然発生し、ふとしたことから伝染する恐れがあります。人間は、ブルセラ菌属の細菌に感染した動物、或いは感染した動物に由来する動物性食品との接触を通して感染します。通常3つの経路のどれかによって感染が起こります：ブルセラ属細菌に汚染された製品を飲食する、ブルセラ属細菌を吸い込む（吸入）、または、皮膚の傷から細菌が体内に侵入する場合があります。

人間が感染する最も一般的な経路は、細菌に汚染された乳製品の飲食です。ヒツジ・ヤギ・ウシ・



ラクダが感染していると、そのミルクも細菌で汚染されています。そのためミルクが殺菌されないと、乳製品を飲食した人にも感染することになります。

ブルセラ属細菌の吸入は多く見られる感染経路ではありませんが、細菌を培養する検査室で働くような特定の職業についている人々には深刻な危険要因になります。

皮膚の傷からの感染は、屠殺場や精肉工場で働く人や獣医にとって注意しなければならない感染経路といえます。猟師もまた皮膚の傷から、もしくは汚染した動物の処理後に誤って細菌を摂取して感染することがあります。



治療方法は？

血液検査によって患者がブルセラ症に感染しているかを判断することができます。そして治療には医師が効果的な抗生物質を処方します。治療の時期や病気の重症度により、回復には1-2週間から5-6ヶ月間かかることがあります。



感染後の対処方法は？

即座に治療を受けてください。医師に感染の可能性があることを伝えてください。ブルセラ症は通常命にかかわる病気ではありません。抗生物質によ

って重症度を和らげることができます。

発生頻度と発生場所は？

ブルセラ症はアメリカ合衆国では毎年100から200件の発生に止まり、あまり一般的な病気ではありません。しかし動物病害対策プログラムが重要視されていない、またはその効力があまりない国々では、よく見られる伝染病です。現在危険性が高い地域として挙げられているのは、地中海沿岸、中央・南アメリカ、東ヨーロッパ、アジア、アフリカ、カリブ海諸島、そして中東です。

ペットや他の動物が感染する可能性は？

はい、あります。イヌはブルセラ属細菌に接触し感染する恐れがあります。ご自分のペットが感染したと思われる場合は、獣医までご連絡ください。免疫システムが欠乏している人はブルセラ症に感染していると思われるイヌと接触するべきではありません。

